特集

地域に愛された向田小学校が閉校

36年間で1,658人の卒業生が向田小を巣立つ

向田小学校の沿革

平成元年	4月	向田小学校開校
	6月	5年生の田植えが始まる
平成2年	2月	校歌制定（故金子詔一氏）
	8月	PTA作業により向田山完成
平成5年	11月	児童会旗完成
平成6年	8月	生活課実習池「虹の池」完成
平成10年	11月	創立10周年記念式典
平成11年	4月	パソコン室設置
平成13年	11月	放課後児童室を開室
平成20年	3月	創立20周年記念音楽鑑賞会
平成30年	10月	創立30周年記念セレモニー
令和2年	4月	新型コロナ感染症拡大防止のため臨時休校
令和5年	10月	第1回閉校事業実行委員会
令和7年	3月	向田小閉校式

3月24日㈪、向田小学校で閉校式が行われ、36年の歴史に幕を下ろしました。地域に愛された向田小学校の閉校式には500人を超える人が参加し、閉校を惜しみました。卒業生1,658人が巣立った向田小学校の歴史を振り返ります。

地域の想いを受けて開校

昭和58年度の東小の児童数は1,647人。グラウンドに児童が並びきれないほどの大規模校だった東小の子どもたちを受け入れるため、平成元年に向田小が開校しました。

向田小の名前は、地名を生かした学校名にしたいという意見から、小字名の「向田」になりました。校章は、大

字の茶畑をイメージし茶の花で形づくられています。

向田小の校舎は、木材を使ったモダンな学校にしてほしいという地域の願いを受けて建てられました。写真は平成元年のオープンスペースを使った読書会の様子で、子どもたちが広々とした空間で学んでいる様子が伺えます。

稲作と餅つきは、開校当時から続けられてきた行事です。土に触れる体験学習をしたいという想いから始まり、向田小の伝統行事になりました。

閉校に向けて

令和５年10月に閉校事業実行委員会が立ち上がり、閉校に向けた取り組みが行われました。

●運動会・向田祭（５月29日㈬）

最後の運動会は、地域の人や中学生や高校生も参加して開催しました。運動会の後には向田祭を開催し、地域みんなで学校を盛り上げました。

●バルーンリリース（７月18日㈭）

閉校する向田小の子どもたちを応援してほしいという思いを込め、手紙を付けたバルーンを飛ばしました。

●ランニングフェスティバル（11月30㈯）

最後のマラソン大会は地区の人と一緒に走る駅伝方式で開催しました。１４区間を子どもたちや地域の人、保護者混合の６チームで走りました。

●トークフォークダンス（３回実施）

子どもたちと地域の人が一緒に話をする場としてトークフォークダンスを開催しました。

●閉校式（３月24日㈪）

地域の人に愛された向田小の最後の日。閉校式後は学校を開放し、向田小で過ごした日々を懐かしむ卒業生の姿が多く見られました。

地域あっての向田小

向田小学校
松本 律子 校長

向田小学校は平成元年に開校し、36年の歴史を経て閉校となりました。しかし、「36年前に戻るだけ」ではないのです。学校は、地域があっての学校なのです。そしてどの学校にも文化があり、地域の特色も児童の特色もあります。それを大事にしてこその学校なのです。

地域の向田小を愛する気持ちは、痛いほど理解できました。いかにして、地域を巻き込み、理解者と支援者を増やし前を向いて歩いていけるかが鍵となります。

子どもたちの思いを前面に出し、地域の人と一緒になって閉校行事に取り組みました。みんなで創り上げる楽しさや築かれた絆は、向田小学区の宝となりました。だからこそ子どもたちは、シン東小を支えようと前向きな気持ちで新たな世界へ飛び込んでいきました。その陰には、いつでも見守ってくれる地域があるからなのです。

向田小学校に関わり、支えてくださった全ての人々に感謝を申し上げると共に、これからも子どもたちに力強いご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。そして、大人になっても地域を大切にできる人を育ててください。